

ホシザキ野生生物研究所 研究報告会

植物分野

昆虫分野

鳥類分野

水生生物分野

環境修復分野

公益財団法人ホシザキグリーン財団の大きな事業のひとつに調査研究があります。鳥類・魚類・昆虫類・水生生物をおもな調査対象として島根県内に生息する野生動植物の保護や生息環境を保全するという視点から、生息状況などの調査研究を行っています。

このたび、いままでに実施した調査研究の成果を広くご理解いただくため、研究報告会を開催することとしました。

植物・昆虫・鳥類分野についてホシザキ野生生物研究所の研究員が、水生生物分野では島根県立宍道湖自然館ゴビウスの飼育展示係が発表をいたします。また、財団が手がける環境修復プロジェクトからの発表も予定いたします。どなたでも聴講いただけますので、ご関心のある方はぜひお出かけください。

聴講無料

開催日

1回目 10月14日(月・祝)

2回目 11月5日(火)

開場/13:30 開演/14:00~16:30

※1回目、2回目とも発表内容は同じです。

場所

島根県民会館 2階多目的ホール

〒690-0887 島根県松江市殿町158

定員

100名程度

対象

どなたでも聴講いただけます。当日会場へお越しください。
※事前申込不要ですが、席数には限りがありますのでご注意ください。

主催

公益財団法人ホシザキグリーン財団

後援

島根県

お問い合わせ先

公益財団法人 ホシザキグリーン財団

(事務局) 島根県出雲市園町 1659-5 電話 0853-63-7111

URL:<http://www.green-f.or.jp>



ホシザキ野生生物研究所 研究報告会

植物分野

演 題：**ふるさと尺の内公園の絶滅危惧種オニバスについて**

発表者：**三浦 憲人**（ホシザキ野生生物研究所）

雲南市木次町のふるさと尺の内公園で2005年から保存のため栽培されている絶滅危惧植物オニバスについて、これまで行ってきた管理の様子や観察の記録を紹介する。

昆虫分野

演 題：**本土側とは形態や生態が異なる隠岐諸島の昆虫類について**

発表者：**林 成多**（ホシザキ野生生物研究所）

ジオパークとして注目されている隠岐に生息する昆虫の中には、限られた資源を利用するため独自の形態や生態に変化した種がいる。これまでの研究で明らかになってきた島特有の昆虫について具体的な例をあげて紹介する。

鳥類分野

演 題：**島根県の砂浜海岸に生息するシロチドリ その生息数は推定できるか**

発表者：**森 茂晃**（ホシザキ野生生物研究所）

島根県のレッドリストに準絶滅危惧として掲載されているシロチドリは、昨年公表された環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類として新規掲載された。その個体数の減少が懸念されている本種の県内の生息状況について調査してきたことを紹介する。

水生生物分野

演 題：**島根県の礫浜海岸で確認した日本海側初記録のマメアカイソガニについて**

発表者：**桑原 友春**（島根県立宍道湖自然館ゴビウス）

マメアカイソガニは、2009年に新種として発表されたばかりのまだほとんど記録がないカニである。今回、島根県でも初めて生息を確認したので、その形態的特徴と生息環境について紹介する。

環境修復分野

演 題：**宍道湖・中海及び美保湾産魚類の食性調査報告**

発表者：**越川 敏樹**（ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト）

宍道湖で多くの魚種が減少する中で、スズキは相対的に漁獲の割合が増加している。このスズキを中心にしながら、同時に周辺の魚種を含めた「食性」を通して、現在の宍道湖・中海水域の環境を探る。

Play in Nature, Learn from Nature.

自然と遊び、自然に学ぶ。

公益財団法人ホシザキグリーン財団